



鯉沢中部小学校だより

# せおと

2012. 11. 16撮影

平成24年11月22日 No.7 発行者 校長 岡崎紀子

## ＊なぜ紅葉するの？＊

秋が深まると、紅葉前線が北の地方から南の地方へ、高山から平地へと駆け抜けていきます。夏の間、緑一色だった山々が、いっせいに赤や黄色に染まります。「秋の山は粧う」と言われますが、まさしくその通りです。

では、なぜ葉の色が変わるのでしょうか。それは、春から夏にかけて、葉は木が生長するための養分を作っています。根から吸い上げた水と、葉の裏にあいている小さな穴（気孔）から取り入れた、空気中の二酸化炭素を材料に、日光の助けを借りて、デンプンを作り出しています。ところが、冬は木が生長を止めます。眠っている間も葉を付けておくと、葉の気孔から水分が逃げ出して、木が枯れてしまいます。それを防ぐために木は役目を終えた葉を落とす準備を始めます。秋になり、気温が下がると葉と枝の間に「離層」ができて、水や養分を運ぶ間を閉ざしてしまいます。すると、葉緑体が壊れて緑色が消えます。今まで目立たなかった黄色い色素が浮き出てきたり、赤い色素が広がったりします。もちろん葉が緑のままの木もありますね。これは常緑樹といいます。色を変えて派手に落ちることもないので目立ちませんが、少しずつ葉を落として新しい葉と入れ替わっています。

本校のプールの東にイチョウの木があります。雌木ではないのでイチョウの実はつきませんが、もうすぐ北風が吹き出すと葉をいっせいに落とします。その光景を見ると、宮沢賢治のぎんなんが一緒に飛び降りる童話「いちょうの実」を思い出します。木をおかあさん、黄金色の実を子に擬し、落下を「旅立ち」と描いています。子らは靴を履き、外套をはおって旅の支度をします。おかあさんは、子どもらのことが心配で心配でたまらないのです。すると、冷たい北風がゴーッとふき「さよなら、おかあさん」と口々に言って枝から飛び降りるのです。お母さんの木は、まるで死んだようになってじっと立っています。でも、最後に「お日様は燃える宝石のやうに東の空にかかり、あらんかぎりのかゞやきを悲しむ母親の木と旅に出た子供らとに投げておやりなさいました」となります。母親として、我が子にはずっとそばにいてほしいと思うものですが・・・そのことを察して、お日様があらん限りの輝きを送ってくれるという内容です。旅立ちを喜ばなくてはと思いつつ・・・。母親としては複雑な心境ですね。

いちょうの葉は、11月のよく晴れた、冷え込みのきびしい朝に、わずか30分ほどで一枚残らず落葉してしまうそうです。本校のいちょうや桜の葉もこのお便りを見ていただく頃には、すっかり葉を落とし、冬の準備に入っていることでしょう。



## ふれあひの集会

運動会が終わって1ヶ月経ちますが、「あの感動をもう一度！」に呼んで、組立体操・YOSAKOIソーラン・鼓笛演奏の一部を披露させていただきましたが、いかがだったでしょうか。集会前に2度練習しただけでしたが、運動会の時以上に力を発揮し、堂々としていました。



十月二十七日の街角の音楽会で見ていただいた構成劇「泣いた赤鬼」です。「友達」は児童にとって学校生活を左右するほどの重要な存在です。学び合いの場である学校において、児童は友達と助け合ったり、けんかしたりして、人間関係の在り方を学んでいます。この構成劇を通して、真の友情について考えることができました。

# ふれあい集会へのご感想やご意見、ありがとうございました

11人の児童の演技は100人にも1000人にも匹敵する素晴らしい演技でした。特に、泣いた赤鬼のナレーターの児童は個性豊かで演技力抜群でした。また、いつも感ずることですが、この小規模校を存続させるべく地域の方の力強い応援に頭が下がります。児童の数の数倍の観客が物語っています。素晴らしい集会に参加させていただき感謝しています。(切石在住)

毎年楽しみにしています。一年一年の成長が目に見えてわかります。今年は運動会もですが2年生の男の子の姿が目が潤みました。一生懸命頑張っていますね。大きな口を開けて歌う姿もかわいかったです。6年生も最後の行事に取り組む様子が大人に見えました。玄関の飾り付けも今までなかったものですが、皆様のやる気を感じました。みもマイタケ御飯もおしかったです。(鬼島在住)

少人数ながら一人一人が力を出し合った素晴らしい演技にとっても感動しました。YOSAKOIソーランは精一杯の演技に感動しました。児童やPTAの方々の準備や片づけなど総力の結集で素晴らしいふれあい集会でした。人数の足りないところは先生方の補助もあり、微笑ましいです。「泣いた赤鬼」は街角の音楽会の時よりまたまた素晴らしかったです。ありがとうございました。

俗世間の真ん中に日々おりますと、心が疲れストレスいっぱいになります。本日、小学生の真剣に勉学に励んでいる姿を見ますと、心が洗われる思い、しきりです。ありがとうございました。

食生活改善委員の皆様にご指導をいただき郷土料理「みみ」をつくりました。元中部小学校長依田英治先生からいただいたお米でマイタケ御飯も作っていただきました。ありがとうございました。



11名の児童と地域のみなさんの息の合った素晴らしいふれあい集会でした。小さな学校ならではのものではないでしょうか。鼓笛演奏、組立体操、一輪車演技、そして構成劇「泣いた赤鬼」皆さんの練習の成果が表れていて、大きな学校では絶対できない素晴らしいものでした。昔の遊び、児童の自由研究の発表、作文、習字、絵画、地域の皆さんの作品等も素晴らしいものでした。(切石在住)

体育館でのふれあい集会でしたので目の前で見ることができ、どの演技も素晴らしくよかったです。児童一人一人が主役になり、全員心がひとつになっての発表は中部小ならではの、いつも誇りに思っております。特に、「YOSAKOIソーラン」の力強さ、きびきびとした動作に感動し、涙があふれました。11名の児童と地域住民が一体となり盛会に行われたことをうれしく思っております。(鬼島在住)

子どもたちの演技に感動しました。特に、組立体操、YOSAKOIソーランの力強さには、涙がこぼれるほどでした。少ない児童でなにかしら心配していましたが、みんなの行動力、発言力には感心しています。多い人数の学校にも利点もありますが、少人数の良さが発揮できていると思いました。

## 子どもたちの声です

- ★親切にいろいろな人から教わり、わかりやすかったです。何度か棒で小麦粉を延ばすことをやらせてもらって楽しかったです。作ったみみを食べたら、おいしかったです。
- ★麺棒で生地をのぼすのが楽しかったです。味もおいしかったです。成功してよかったです。



民謡部の皆さんの「もみじばやし」「佐渡の恋唄」です。紅葉したもみじの枝を手に華麗な舞を披露してくださいました。ウットー!

## 区長さん、組長さん、組長代理さんが大活躍です!



- ★本物の竹で作ってあってびっくりしました。とても頑丈かったです。
- ★竹馬に乗ってもじょうぶで、教えてくれるおじいちゃんがすごく竹馬がうまくてびっくりしました。
- ★いろいろな人に支えてもらってやりやすかったです。あまり上手にできなかったけれど、とても楽しかったです。

- ★ゴム鉄砲の弾が遠くへ飛んで迫力がありました。本物の銃を使っているみたいで楽しかったです。
- ★ゴム鉄砲は紙が結構遠くまで飛んでびっくりしました。水鉄砲はすごい勢いでした。すごかったです。
- ★ゴム鉄砲は紙を2、3枚入れて討ったりすると回転しながら飛んで、すごく楽しかったです。

- ★水笛は水の量で音が違ってびっくりしました。きれいな音で私も作りたいと思いました。
- ★竹を水につけて吹くと、あんなにいい音が出るということを初めて知りました。
- ★笛がどのくらい水につかっているかで、出てくる音が違って楽しかったです。

- ★お米がもちもちしていて、うまかったし、いろいろな食材が入っていておいしかったです。また食べたいです。
- ★御飯にキ/コとかの味がすごくしみていて、おいしかったです。
- ★においも味もよかったです。お米がもちもちしていて、お米っておいしいと思いました。

- ★作品はみんな違って、それぞれがすごくって、きれいでした。
- ★体育館入り口にあった風船の作品がおもしろかったです。
- ★風船がユニークでした。絵は、自然のことが描いてあってよかったです。
- ★ちぎり絵や風船の作品は、とてもきれいでした。私も絵や作品を作るのが好きなので作ってみたいです。

